

こんにちは

豊丘村議会です

2026
Vol. 114



12月定例会
令和8年1月20日



も く じ

年頭あいさつ	2ページ
令和7年度補正予算を審査	3～4ページ
令和7年12月定例会の様子	5ページ
提出議案及び請願の採決結果一覧	6ページ
委員会報告	7～8ページ
10人の議員が村政を問う	9～19ページ
令和7年に検討した事項から7項目を村長に提言	20ページ
議会は今、何しているの？	21ページ
寄せられた声を検討	22ページ
村内みてある記	23ページ
みんなのページ・編集後記	24ページ

こたつ あったかいネ ネコも冬支度を



豊丘中学校 美術部
あきと
北澤 瑛斗さん 画



←本会議の動画は
こちらから！

とよおかネットワーク・ホーム

検索



工事が進む竜神大橋

謹賀新年



議長 平澤恒雄

広報・広聴活動を中心に

新年あけましておめでとございます。村内の皆さまとともに、新しい年を迎えられましたことを、大変うれしく思います。皆様には日頃より議会活動に對しましてご理解ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。引き続きご指導賜りたいと存じます。さて、私も議会の活動は「豊丘村議会基本条例」がもとになります。その第2条に「議会は村の意思決定を担う議決機関としての責務を自覚し、村民の意思を村政に反映させるべく、議論を尽くし真の地方自治の実現を目指します」とうたっています。昨年の議会活動もこれに基づき、村民の皆様の声をしっかりお聞きして、村に繋げて政策に盛り込むことに努めました。議会の広報活動として広報誌「議会だより」を定例会に合わせ、年4回発行し、20人ほどに依頼している「議会モニター」のメンバーに読んでもらって感想をもらっています。その意見を取り入れながら、手に取っていただける紙面づくりに努めました。また、村内の皆様からご意見を伺う広聴活動として、社会文教・総務産建の両委員会が、村内の各種団体やグループと懇談を行いました。ご意見を伺聴しました。一方、村民の皆様から直接ご意見を伺うために、8月から9月の間、役場とゆめあるて、はつらつの3か所に「目安箱」と称する箱を置きました。更に、とよおかまつりのごみステーションを、議会でも運営しながら、同時に「みんなの声ステーション」を設け、お祭りに来られた皆さまから、ご意見をいただきました。

目安箱とみんなの声ステーションのそれぞれで40件ほど、合計で70件を超えるご意見・ご要望をいただきました。これを、社会文教・総務産建の両常任委員会が、所管する一つの案件について、現地を確認するなど調査検討を行い、これを基に村への意見紹介や村の事業へ盛り込むよう政策提言を行いました。迎えました本年につきましても、議会活動の中心に広報広聴活動をおいて、村民の皆様のご意見ご要望を伺ってまいります。頂きましたご意見を実現するべく調査検討し、村の施策に繋げてまいります。

終わりになりましたが、この1年が村民の皆様にとりまして、より良い年になることを願いまして、新年のご挨拶とします。

年度末までに必要な不足している生活予算を補正

- 一般会計補正予算 2.6億円追加
- 水道事業会計補正予算 建設改良費2.3億円追加



1,400万円増

不足となった要因は

- ㊦ 該当者の増加
- ㊦ 当初予算にてもう少し増額しておいてもよいのでは
- ㊦ 検討する

■障がい者自立支援給付金事業
介護給付金・訓練等給付費不足分を増加

不足予想される
給付金を増額補正

12月定例会に人事院勧告分を除く、一般会計補正予算と特別会計補正予算（介護保険）及び事業会計補正予算（水道・下水道）の議案4件が提出され、19日に予算決算委員会にて審議し、委員長を除く委員10人の賛成で可決されました。23日最終日には、本会議にて委員会報告がされ、異議なく可決しました。

若い世代向け
土地・住宅購入
助成を増額補正

■移住定住事業定住促進助成金
土地・住宅
5件分600万円増
若い世代
住宅取得補助
10件分500万円増

ふるさと納税は現在
9.5億円の状況
最終的には10億円の
見込み

■ふるさと納税寄附金
追加
1億5,000万円増
総額
9億5,000万円



希望者の状況は

- ㊦ 現在21件の申請があり、30件を見込んでいる
- ㊦ 村の人口は減少しているが、生産人口は増えている、それが要因

■ふるさと納税
経費不足
お礼品代
3,000万円増
寄付証明書等経費
15万円増

■地域おこし協力隊事業
■お試し協力隊員受入事業にて隊員募集
■新！お試し協力隊委託事業 100万円増

今回の事業の募集業務は

- ㊦ 観光・レストラン業
- ㊦ 応募者の状況は
㊦ 5～6人の応募がある見込み
- ㊦ 他業種には応募はないのか
㊦ 現状は無い

りんごつ子公園整備に追加工事

■公園維持管理事業
立木伐採
植込垣根撤去
駐車場拡張造成等
500万円増

参加することになった理由は

- ㊦ 活動が認められたこと
- ㊦ 対象者は
㊦ 参加児童と引率者
- ㊦ 保護者分は
㊦ 規定により別途の対応

■南小学校管理経費追加
参加用バス代
33万円増

■南小金管バンドが
埼玉県川越市で開
催される全国大会
出場



南小金管バンドの皆さん

国からの地方支援交付金を活用！

商品券1人10,000円 新地域通貨で1人5,000円相当 (一般会計補正予算第7号)

12月定例会最終日に、一般会計補正予算第7号にて、国の重点支援地方交付金として1億2,767万円を含めた補正予算他3議案が提出され、本会議で即日審議し全ての予算案が可決されました。

商工業振興対策事業

生活支援として

- 商品券配布
1人10,000円
だんQ君商品券
令和8年1月配布
使用期間6月末
印刷・使用料他
7,185万円増



地域通貨

- ポイント配給
ポイント配布
1人5,000円分
ポイントカード配布
令和8年7月中
使用期間12月末
システム導入委託料
ポイント料他
4,475万円増



Q「地域通貨」は議会でも研究していた。高齢者等への周知、使用説明の計画は

- A) スマホでの簡単な操作のもの 地域毎の説明会は予定している

Q 今後「地域通貨」に付与していく予定はあるのか

- A) 活動参加ポイント等を各課で検討したい
参加各店舗からの付与ポイントにも活用できる

Q 出産祝い金等高額のものまで予定しているのか 村内では販売されていない分野もある

- A) どれを対象にするのかは今後検討する

Q 「地域通貨」の使用期限は

- A) 今回は令和8年12月末だが今後検討する

Q 導入後、次年度からの維持は

- A) 400～500万円

■中小企業等エネルギー高騰対策支援として

補助金	1/10
青色申告額のエネルギー代の限度額	1,700万円増
個人	150,000円
法人	300,000円
限度額	1,700万円増

Q 支援内容は何か

- A) 令和7年の青色申告での、水道光熱費・燃料費・動力水道費の1/10 補助

Q 製造業だけか

- A) 青色申告している方が対象
農家も個人経営も対象

■児童福祉総務一般事業
物価高対応子育て応援手当として



- 児童手当支給
1人20,000円
- システム改修費等
2,597万円増

村民体育館維持管理事業

- 村民体育館修理として
- バスケットボール修理
1,43万円増

Q 事業の実施はいつか

- A) 令和7年度に契約して、
施工開始は令和8年度

Q 本年度工事に支障は

- A) 本年度の工事は、年度中に完了するため支障はない

■水道事業会計 補正予算第2号
資本的支出
建設改良費追加
水道施設更新事業
伴野工区
2億1,670万円増

Q 事業の実施は

- A) 令和8年度設計
工事は令和9年度から
3年間を予定

令和7年 12月定例会

条例改正 11 件 陳情 1 件 請願 1 件を審査
請願は不採択

条例改正

令和7年12月議会は、12月4日から28日までの会期で行われました。条例改正11件、陳情1件、請願1件が上程されました。総務産建委員会へは、条例改正1件、請願1件が付託され、社会文教委員会へは条例改正1件、陳情1件が付託されました。

改正理由

○改正理由
内閣府令の改正が行われ、利用乳幼児に対する健康診断の全部または一部を行わないことができる場合を追加する改正。

(可決)

議案第56号
豊丘村個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第58号
豊丘村憩の家設置条例の一部を改正する条例の制定について
(社会文教委員会付託
詳しくは8Pをご覧下さい)

(可決)

議案第60号
豊丘村家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第59号
豊丘村特定教育・保育設備及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

○改正の趣旨
児童福祉法の改正が行われ、保育所と園における虐待に関する通報義務が創設された。

(可決)

議案第62号
豊丘村火入れに関する条例の一部を改正する

陳情・請願

陳情第1号

委員会は反対多数で不採択の報告。本会議では、委員長報告に反対の立場から「診療・介護報酬の公費負担による引き上げは必要」等の討論があった。委員長報告に賛成の立場で「全額公費は無理がある。他産業と比べても無理がある」等の討論があった。採決の結果、原案賛成7反対4で原案どおり採択され、意見書案も採択された。

請願第4号

委員会は反対多数で不採択の報告。本会議では、委員長報告に反対の立場から「水源涵養地への埋め

立てには住民の不安がある」等の討論があった。委員長報告に賛成の立場で「現在県の審査中で計画を止めるこ

とは時期尚早である」等の討論があった。採決の結果原案賛成4反対7で原案は不採択となった。

議員の意思表示一覧表 <令和7年> ○…賛成 ▼…反対 (―…議長)

件名	審議結果	堀本	武田	武田	壬生	酒井	片桐	唐澤	吉川	井原	前沢	唐澤	平澤
陳情第1号 診療報酬・介護報酬及び傷害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情	採択	○	▼	○	○	○	○	○	○	▼	○	▼	-
請願第4号 本山へヒ素を含む要対策土を置くJR東海の計画変更を求める請願	不採択	▼	▼	○	▼	○	○	○	○	○	○	▼	-
発議第4号 「診療報酬・介護報酬及び傷害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げ」を求める意見書の提出について	原案可決	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	-

第3回臨時会・第4回定例会 提出議案及び請願の採決結果一覧

議案番号	条例・予算名	議決結果	議決月日
議案第49号	令和7年度 豊丘村一般会計補正予算第4号	可決	10月31日
議案第50号	令和7年度 農山漁村振興交付金事業 勝負平滞在型市民農園簡易宿泊施設・交流棟建築工事（1工区）工事請負契約の締結について	可決	10月31日
議案第51号	令和7年度 農山漁村振興交付金事業 勝負平滞在型市民農園簡易宿泊施設・交流棟建築工事（2工区）工事請負契約の締結について	可決	10月31日
議案第52号	令和7年度 農山漁村振興交付金事業 勝負平滞在型市民農園簡易宿泊施設・交流棟建築工事（3工区）工事請負契約の締結について	可決	10月31日
議案第53号	令和7年度 農山漁村振興交付金事業 勝負平滞在型市民農園簡易宿泊施設・交流棟建築工事（4工区）工事請負契約の締結について	可決	10月31日

議案第54号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12月4日
議案第55号	常勤特別職の職員の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	12月4日
議案第56号	豊丘村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12月4日
議案第57号	豊丘村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12月4日
議案第58号	豊丘村憩の家設置条例の一部を改正する条例の制定について	社会文教委員会付託、可決	12月23日
議案第59号	豊丘村福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12月4日
議案第60号	豊丘村家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12月4日
議案第61号	豊丘村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12月4日
議案第62号	豊丘村火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務産建委員会付託、可決	12月23日
議案第63号	豊丘村下水道事業運営協議会条例を廃止する条例の制定について	可決	12月4日
議案第64号	豊丘村水道事業運営協議会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	12月4日
議案第65号	令和7年度 豊丘村一般会計補正予算 第5号	可決	12月4日
議案第66号	令和7年度 豊丘村介護保険特別会計補正予算 第3号	可決	12月4日
議案第67号	令和7年度 豊丘村水道事業会計補正予算 第2号	可決	12月4日
議案第68号	令和7年度 豊丘村下水道事業会計補正予算 第2号	可決	12月4日
議案第69号	令和7年度 豊丘村一般会計補正予算 第6号	予算決算委員会付託、可決	12月23日
議案第70号	令和7年度 豊丘村介護保険特別会計補正予算 第4号	予算決算委員会付託、可決	12月23日
議案第71号	令和7年度 豊丘村水道事業会計補正予算 第3号	予算決算委員会付託、可決	12月23日
議案第72号	令和7年度 豊丘村下水道事業会計補正予算 第3号	予算決算委員会付託、可決	12月23日
議案第73号	損害賠償の額の決定について	可決	12月4日
議案第74号	令和7年度 豊丘村一般会計補正予算 第7号	可決	12月23日
陳情第1号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情	社会文教委員会付託、採択	12月23日
請願第4号	本山へヒ素を含む要対策土を置くJR東海の計画変更を求める請願	総務産建委員会付託、不採択	12月23日
発議第4号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書の提出について	可決	12月23日

請願第4号『本山へ、ヒ素を含む要対策土を置くJR東海の計画変更を求める』委員会審査は不採択（賛成1反対4）

総務産建委員会 委員長 壬生眞由美

将来にわたる村の水道の安全を問う

請願者「豊丘村の水を守る会」栗澤左門さん、原草さんを参考人としてお招きし、請願の説明と質問に回答していただきました。

請願の概要

水源地に位置する本山リニア発生土置き場に、環境基準を超えるヒ素を含む要対策土を置くJR東海の計画は、その有効性や持続性が不確かで、工事後の管理の持続性も不明。地下水を利用する村の水道水や生活用水にヒ素が漏出する危険がある。沿線では、より安全で確実な方法が検討され、飯田市ではコンクリート構造物内に封じ込め、青崩れトンネルでも擁壁で囲った盛土にシートで封じ込めている。将来にわたり、村民にとって危険の無い計画へ変更することを議会から村へ要請してほしい。

【質疑】

質問 搬出の際の危険性を考えると、現地での処分が最良。他に安全な方法はあのか。
回答 磁性吸着材により除去する方法がある。その処理土は本山に入れることも可能と考える。静岡でも検討中。
質問 現在県の技術委員会が審査中の事実を知ったら、署名しなかった方もいるのでは。
回答 署名を始めた時点では、JR東海はまだ県へ保全計画書を出していないかった。署名内容は、

【答復】

基本的なごととして、要対策土を入れることをやめてほしい、とした。
質問 署名は村内在住者か。成人か。対象は。
回答 本山地縁団体の構成員としたが、村に訪れる、勤務する方も村営水道を利用するので対象とし、現在は県外からも署名が寄せられている。母親が子どもにも関わることとして代筆することもある。それらも含め、本山地縁団体の会員内493筆、66筆は村内の林、田村、河野地区の方。

【討論】

請願に反対！
・JRの計画は試験結果も含めて報告されている。
現在県は審査中であり、計画を止めることを求めることは時期尚早。
・1月以降、県は環境保全計画書へ助言をする。
助言へのJR東海の対応を見守るべき。
・工法が危険である論拠や水源汚染のリスクが高いという科学的技術的な根拠を明確にしてから出すべき。
・途中経過であり、時期尚早。代筆等を含むという署名には疑問がある。

請願に賛成！

リニア建設の反対を求めたものではなく、村民の重要な水源涵養地の安全を求めるもの。村の飲料水の水源は95%を地下水に頼り、水を大事にしていた。埋め立てた後の経年劣化や自然現象は避けられない。一度ヒ素が漏れ出せば回収は不可能。村民の不安は当然。

林野火災を未然に防ぐ
『林野火災注意報』
岩手県大船渡市の林野火災を受け
国が火災予防条例を改正

国の通知を受け、広域連合では火災予防条例を改正し、令和8年1月1日から消防長が「林野火災注意報」を発令できるようになります。
質問 どんと焼きでは高

【質疑】

関係する「豊丘村火入れに関する条例」改正を全会一致で可決しました。

【討論】

森消防署に「火入れ届」を出すのが通例だが、回答 どんと焼きや剪定枝の焼却の届けはここでいう「火入れ届」の対象外で正式には「たき火届」「火入れ」とは、「造林のための地ごしらえ、開墾準備、害虫駆除、焼き畑、その他」に該当する火入れを指す。
意見 林野火災注意報の創設の機会に、村民にわかりやすい必要注意喚起を求めたい。
なし

一般質問 — 10人の議員が村政を問う —

〔1日目〕

- 1. 唐澤 克己 (10ページ)
 - 1) 人口減で地域存続のための外国人受け入れは
 - 2) インフルエンザなど感染症拡大防止対策は
- 2. 武田 篤子 (11ページ)
 - 1) 特別教室棟トイレの洋式化を進めないか
 - 2) 資料館の増改築・空調整備を考えないか
- 3. 前沢 光昭 (12ページ)
 - 1) 空き家対策の推進を
 - 2) 村奨学金の改善を
- 4. 壬生真由美 (13ページ)
 - 1) 議場に国旗掲揚 その意味は
 - 2) 絶滅危惧種クダザキヤマジノギクをつないでいくには
- 5. 唐澤 健 (14ページ)
 - 1) ヒ素の毒性の認識は
 - 2) 北小にエレベーターを
- 6. 酒井 浩文 (15ページ)
 - 1) 外国人来訪者への対応と国際交流の推進は

〔2日目〕

- 7. 吉川 明博 (16ページ)
 - 1) ゲストハウスいげたやの現状と今後の運営は
- 8. 井原 康明 (17ページ)
 - 1) リニア開通を見据えての将来構想は
- 9. 武田 徹 (18ページ)
 - 1) 部活動地域展開、小中、地域の連携は
- 10. 堀本 文文 (19ページ)
 - 1) 悲しい人身事故が起きる前に村長判断で対応できる計画の策定を



←本会議の動画はこちらから！

とよおかネットワーク・ホーム 検索

【一般質問の申し合わせ事項】

- ・ 通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・ 1議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・ 発言残り時間5分前に呼び鈴を1回、残り3分前に呼び鈴を2回鳴らす。
- ・ 発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。

付託案件2件の審査

(陳情1件・条例改正1件)

社会文教委員会

委員長 武田 篤子

陳情第1号

【内容】

「医療や介護・福祉事業の安定的な維持発展、すべての労働者の処遇改善のために2026年の診療報酬改定を前倒しで、報酬改定と物価高騰対策も含め10%以上の改定を実施。当面の支援策として2025年度中に全額公費による賃上げ支援策を行うてほしい。」という意見書を政府に提出してほしい。

【主な質疑】

質問「公費から」と言うのは一番の解決策になるのか。

回答「事業者収益の中、公定価格が一番大きい。公費負担というのは、利用者負担にならないようにという意味もある。」

質問 報酬アップの影に企業努力があると思う。そういったものをやっている事業者はあるのか。

回答 いろいろな事業者が予算決算時にやっているが、もう限界というところで今回の陳情を出した。

質問 2026年度の改定の情報と、1年前倒しでの報酬改定は可能なのか。

回答 前倒しについて

12月18日、社会文教委員会を開催し定例会本会議で当委員会に付託された陳情1件と条例改正1件について審査をしました。陳情は、長野県医療労働組合連合会、長野県社会福祉推進協議会から出されました。参考人に飯田民医連労働組合書記長 近藤健さん、村内在住の高島彩さんをお招きして審査を行いました。また、条例改正では憩の家の使用料の改定について審議しました。

は、厚生労働省は実施する方向で動いている。当面の支援策としては補正予算で一定程度取り組みがされていると認識している。

回答 部屋の使用料については村外料金となる。宿泊料は同料金。質問 なぜ値上げなのか。回答 今の相場からあまりに乖離している。

【討論】 反対 12月臨時国会で全従事者に対して1万円の補正を確定している。「2025年度中に全額公費から」というのは無理がある。賛成 報酬改定の要求であり「公費負担を50%から60%にする」という意味であり賛成。

【審査結果】 不採択 (賛成2 反対3)

【討論】 なし

【審査結果】 可決 (賛成5 反対0)

議案第58号

【内容】

憩の家の部屋使用料や宿泊費について見直しを行うもの。

【主な質疑】

質問 村内村外者混在の場合にはどうなるのか。

12月18日、飯田広域シルバー人材センター役員の方々と社会文教委員会の委員との懇談会が行われました。

山田理事長のあいさつの後、村長と議会議長に要望書が手渡され、活動や運営報告、意見交換などが行われました。

要望は、以下のとおりです。

- 国の補助金と同額以上の補助金の確保について引き続き配慮をいただきたい。
- 公共事業の発注拡大、フリーランス法に伴う新たな契約方法への対応など、安定的な運営が可能となるよう支援をお願いしたい。

	1日		半日・夜間	
	改正後	現行	改正後	現行
部屋	2,000円	1,000円	1,000円	500円
部屋 (冷暖房使用時)	2,600円	1,600円	1,300円	800円
	改正後		現行	
宿泊料	2,500円		1,500円	

人口減で地域存続のための外国人受け入れは

答 多文化共生の視点で受け入れ環境を整備する

唐澤 克己 議員



質問 現時点での村内における外国人の方の人数は。また、結婚等で永住されている方と、仕事などの期間限定で滞在の方の割合は。

答 令和7年12月1日現在で、永住者100名、就労目的の滞在等が44名。質問 行政側から見て、村内に居住される外国人の方々に関係する難しさや課題等は。答 税務会計課長 村では転入や転出を窓口係で対応。外国人の方々の相談は在留資格の更新や家族の方々を呼び寄せる書類についてなど。外国人の方で高齢者も増えており、困りごとのある家庭は少なくないと思う。外国人の方のこの地で生活する顕著な課題は、言語や文化の違いによるコミュニケーション（意思疎通）の難しさだと考える。

質問 村や地域社会の存続を維持するために、今後外国人の受け入れに関して、当村はどう対処していくのか。

答 村長 当村でも外国人の受け入れは地域存続のための重要課題と認識している。言語文化の違いや住居の確保等で課題があることを踏まえ、村として生活と雇用の両面で環境整備を進める。受け入れ企業の負担軽減や外国人が働きやすい環境を整えるため、村では令和7年より外国人材雇用事業所支援事業補助金を設け、支援を始めた。今後商工会等と連携し課題の把握や改善に努める。また、永住者や高齢の方も増えているので、行政情報の方がりやすい提供にも配慮していく。外国人の受け入れを単なる人手不足のためではなく、地域で共に暮らす多文化共生の視点で進めていきたい。

インフルエンザ予防の基本

- 1 ワクチン接種による予防
- 2 外出後の手洗いと手指消毒実施
- 3 マスクの着用と咳エチケット励行
- 4 室内の喚起と適切な湿度の維持
- 5 十分な休養と栄養の摂取
- 6 流行中は人混みを回避

<厚生労働省等の資料より抜粋>

質問 「村内にインフルエンザ感染が拡大」などの情報を村はどのようにして把握しているのか。

答 健康福祉課長 県では保健所単位でまとめられた発生状況を基に、ホームページ等で感染症情報を発信し、基準値を超えた場合には警報を発令している。村では、それらに加え、社会福祉施設や教育委員会からの報告、飯田医師会からの通知等で村内の感染状況をつかむ。

質問 村内で感染拡大が確認された場合に、担当課として、村民に対し、マスク着用、室内換気など、臨機応変に、また、独自に防止対策がとれるのかどうか。

答 健康福祉課長 村では著しい発生状況が確認された場合など、村の判断でライブビジョンを活用し、インフルエンザにかからないための注意喚起を行っている。先月30日には飯田医師会からの連絡に基づき、今回の急拡大に伴う休日夜間診療所の混雑の見通し、受診に当たった際の留意点など注意喚起を行った。

質問 村では、高齢者等にインフルエンザ予防接種の補助など実施しているが、こうした方策を周知推奨していくことが感染防止に寄与すると考えるがどうか。

答 健康福祉課長 予防接種は希望によるが、一定の接種率確保が感染予防につながるため、希望される方が安心して確実に接種できるように周知推奨に努めている。

特別教室棟トイレの洋式化を進めないか

答 学校と相談しながら検討したい

武田 篤子 議員



質問 中学校特別教室棟のトイレは4つのうち、3つが和式という状況。中学校トイレの和式の現状について伺う。

答 教育委員会事務局 全体で10か所あり、和式が24器、洋式が42器。和式トイレ率は36.4%。

質問 中学校の特別教室棟女子トイレに和式が多いのは何か理由があるのか。

答 教育委員会事務局 正確な理由は不明。本校舎などの洋式便器で十分対応できている。

質問 特別教室棟も普通教室棟同様に、女子トイレの洋式化をしないか。

答 洋式化についてどう考えるか。

答 教育長 改修には多くの経費が必要になるのが、学校とも相談しながら前向きに検討したい。

質問 南北小学校のト

イレの和式の現状について伺う。

答 教育委員会事務局 和式トイレ率、北小学校は16.7%、南小学校は27.5%。

質問 南小学校の外トイレは洋式が1つ、和式が3つ。和式が多いのは何か理由があるのか。

答 教育委員会事務局 社会体育での利用機会が多いこと、建設当時の下水等つなぎ込みの状況などからである。

質問 内閣府が平成28年に示した「避難所トイレの確保管理ガイドライン」には「既設ト

資料館の増改築、空調整備を考えないか

質問 現在の資料館の、温度湿度管理はどのようになっているのか。カビやシミ対策はされているのか。

答 教育委員会事務局 厚い壁による断熱と換気扇などで管理し、3年に1度、全館燻蒸作業でカビやシミ対策を行っている。

質問 資料館には、エアコンやサーキュレーターなど温度湿度管理



資料館にある松尾多勢子の古文書

か。ができるものがないと聞くが、導入を検討されたことはあるのか。

答 教育委員会事務局 今年度当初予算計上で検討されたが、工事費がかさむことなどから実施は見送った。

質問 古文書、貴重な資料等の劣化を防ぐため、保管場所の増築を含め、適切な場所で保存できるよう対策をとるべきではないか。

質問 対策をとることについての考えは。

答 村長 資料館への空調設備設置のみでなく、村が所有する他の施設などの利用など、様々な検討し収蔵品の保護に努めていきたい。

定例会報告

補正予算

委員会報告

一般質問

議会は今、

寄せられた声を検討

村内みである記



議場に国旗掲揚 その意味は

答 国旗に対する畏敬の念

壬生 真由美 議員

質問 議場に国旗が掲揚されました。戦後80年。戦時中のことを語り継ぐことも難しい時代です。国策に翻弄されることなく平和を望む飯田下伊那の人々の思いもあり、議場での国旗掲揚はされてきていないと聞く。村長の認識を伺いたい。

村長 国旗に対する畏敬の念、国はひとつにまとまり、国民が平和を愛する気持ちと、国家が国民を守るための施策は、両立してはいる。そういっていい。意味で国旗を掲揚させていた。決して飯田下伊那の満蒙開拓の悲しい思いを語り継いで大事にしてきた平和に対する気持ちを蔑ろにするものではない。

意見 今の国の経済政策で兵器の輸出など防衛産業を成長戦略と位置づけることは、日本が死の商人となる。地方自治は、国の政策



クダザキヤマジノギクの花 (10月18日撮影)

絶滅危惧種 クダザキヤマジノギクをつないでいくには

答 村でも育て、周知していく

質問 村の天然記念物について伺いたい。

教育委員会事務局長 「文化財保護条例」で指定できる天然記念物として動物、植物、地質鉱物等で学術的価値の高いもの。クダザキヤマジノギク、野田平のコブシ群生林、ミヤマトサミズキ、鬼面山のオオトキノキ、笹見平の枝垂れ桜がある。

質問 村の自然へ理解を深めるため、天然記念物を観察する企画を教育委員会事務局長参加者の減少でやらなくなった。周知に努め、今後企画を検討したい。

質問 「クダザキヤマジノギク」は、県の絶滅危惧種で、河野中部の筒井寛さんは50年来この花の種を継いでこられ、苗を学校や希望者に分けて下さっている。小中学校での管理や学びについて伺いたい。

教育長 南北小学校では二宮尊徳像の下の花壇等に、中学校では校門前と体育館前の植



畑は既にクダザキヤマジノギクの自生地 (12月7日に種を採取する筒井さん)

え込みに生育しており、主に用務員さんが管理され、筒井さんも様子を見て、種を蒔いて下さっている。小中学校では理科の植物の一生を学ぶ教材として、クダザキヤマジノギクの写真を校内に掲示し、校長講話で、希少種保護に取り組み活動を紹介している。

質問 松川町や中川村では、教育委員会や建設環境課が支援している。クダザキヤマジノギクは開花後にタネが熟すまで刈らずに放置するとよいそうだ。豊丘ではどのような支援が考えられるか。

教育委員会事務局長 学校での教材化の他、地域で関心のある方がつくるグループに子どもたちが参加することが自然と思う。

質問 頂いて苗を育てている方から、開花や生育情報を集めることから始めてはどうか。

教育委員会事務局長 開花のたよりを寄せていただき、クダザキヤマジノギクをつなげていくことを大切に思う方もいると思う。教育委員会でも栽培し、皆さんに周知していきたい。



空き家対策の推進を

答 相談しやすい環境づくりを進めたい

前沢 光昭 議員

質問 令和5年、国の土地家屋調査によると全国の空き家は899万戸、7戸に1戸は空き家状態という。前回の2018年から51万戸の増加、この30年間で見れば約2倍になった。

豊丘村でも2169戸中いわゆる住人のいない空き家は、189戸で約9%、10戸に1戸は空き家でまさに喫緊の課題。豊丘村では空き家改修補助もあり、最大100万円まである。これらの条件がありながら対策は進まない。今後のためにも所有者に考えを聞いてみた。どうするか。補助制度の利用実績は。

産業振興課長 空き家の活用が進まない大きな理由として将来使うかも知れない。仏壇、生活用品があるという他に、心理的なハードルがある。所有者の意向把握については同じ認識を持っている。



増え続ける村内の空き家

改修補助金の利用実績は令和6年5件。新設の解体補助金は3件実績があった。補助制度の利用は一定程度進んでいるが村全体の空き家の減少にはつながらない。

質問 更地になると固定資産が増えるという事になるが、特例解除で負担が増えれば放置が増えるのではないのか。

税務会計課長 住宅用地特例の解除は管理不全空き家等として勧告の対象になった状態に対するペナルティー、税負担の増進で改善を促す目的だ。

質問 判断は難しいが村内の「危険な一取り壊し物件は建設環境課長平成28年度から令和6年度まで12件の特定空き家認定、11件については解体か一部解体で対策済み。残り1件は鉄製の囲いをしている。

質問 どうしていいかわからない所有者もいると思うが。

産業振興課長 セミナーによる説明、司法書士による個別相談、相談しやすい環境づくりなど関係部署と相談しながら進めたい。

村奨学金の改善を 答 研究・検討したい

質問 教育基本法では「すべての国民は等しくその能力に応じた教育をうける機会を与えられるべき」とある。学生を持つ保護者の負担は大きい。学生もアルバイトの掛け持ち。卒業後もいきなり膨大な借金を背負う。豊丘村の奨学金について伺う。

豊丘村奨学金制度は無利子貸与型であり、定住促進策としての年10万円限りの返還金制度もある。ここ数年の実績は令和6年、15人令和7年11人。大学進学には日本学生支援機構もあり併用の人いると思う。制度発足後の利用者は。

教育長 施行後からは把握していないが平成27年は2人、平成28年は3人と少ない時期が続いた。その後増えてきた。

質問 返済不要の給付型の奨学金を考えた。ないか。小諸市の実例もある。長野県では40名採用枠がある。

教育長 給付型制度となればその予算確保が必要だ。飯田下伊那ではまだ現在ない。

質問 返済不要の給付型の奨学金を考えた。ないか。小諸市の実例もある。長野県では40名採用枠がある。

教育長 給付型制度となればその予算確保が必要だ。飯田下伊那ではまだ現在ない。

質問 返済不要の給付型の奨学金を考えた。ないか。小諸市の実例もある。長野県では40名採用枠がある。

教育長 給付型制度となればその予算確保が必要だ。飯田下伊那ではまだ現在ない。

ヒ素の毒性の認識は

答 過剰に心配することはない

唐澤 健 議員



質問 不溶化処理した要対策土は、ベントナイトシートを上下に使用し、雨水は通さないと説明したが、J Rの資料では、ベントナイトシートの機能は杭打ちによるシート固定を行うことから、遮水を期待せず、透水性の低い材料という扱いとすると説明しているが。総務課長 ベントナイト系の遮水シートで覆うことを計画している状況だ。基本的には上部については遮水性が十分保たれる。杭を打つてもベントナイトシートの材料、水を含むと膨張する性質もあるもので、遮水性があるとはまは言えないけれども、遮水性は保たれる。

質問 不溶化処理したと考えている。質問 県の環境評価技術委員会が委員から遮水シートの耐久性にも懸念が示され、杭を打った穴からヒ素が流出しないか実験を求められ、J Rは持ち帰って検討するとのこと。委員長鈴木啓助氏は取材に「現時点では、要対策土への対応が適切かどうか、判断が難しい。十分な検討を求めると話した。その認識については。総務課長 J R東海においては技術委員会の委員の皆様が懸念に対して不適切と認識されないような対策とか、見解を検討して回答していくように、村としても求めてまいりたいと考えている。

質問 J R東海は、異常時の対応について直ちに原因を追求し、適切な対応を実施するとしている。また、地下水への対応は皆無ではないかと思われるが。村長 まず、無害化するというのは、実は私もよく分かっていない。また、新水源が必要なのはJ R東海に造ってもらい、国・県でも応援いただき、村からは1円も出さずともいい。

質問 ヒ素がもし出た場合に無害化するというようなことも言われた。私は認識が違うのではないかと思う。質問 北小は、これまで使用対象の児童がいないため、エレベーターはない。しかし、先生が松葉杖を使用されるのを見た村民が、エレベーターがあれば心配されていた。北小にもエレベーターを設置していただきたい。

設備の整備は必要であるというようにも考えられるわけで、設置する場所や建物本体の耐震性なども検討する必要があります。一方、児童や来訪者の階段昇降の不便さ、これを解消するという目的のみであれば、階段昇降機というのがあるので、その設置とか、あるいは椅子式階段昇降リフト、こういう設置もある。エレベーターの設置よりも取り組みやすくなるかと思う。



南小エレベーター

北小にエレベーターを 答 階段昇降機等が取り組みやすい

外国人来訪者への対応と国際交流の推進は

答 段階的な環境整備と人材育成を推進する

酒井 浩文 議員



質問 増加する外国人来訪者への受け入れ体制について、日本語を話せない来訪者が村内の表示不足に困惑した事例がある。公共・商業・教育各施設の現状は。総務課長 公共施設の表記は、入浴マナー掲示等に限定されているが、デジタル防災マップやごみ分別アプリ等

多言語表記の現状と今後の課題は 多言語化を進めている。産業振興課長 道の駅を除き導入事例は少ないが、リニア時代を見据えデジタル技術やピクトグラムの活用が課題である。教育長 学校では英語表記を順次導入している一方、図書館等の施設は未整備であり、今後の課題である。

案内サイン設置と 留学支援策は 質問 誰にでも分かりやすいユニバーサルサインの設置、外国語版観光マップの作成、若者の海外留学への補助制度について提案する。産業振興課長 サイン設置は外国人だけでなく高齢者や子どもにも有用であり、施設の更新時期に合わせて統一性のあるデザインでのマップについては現在、自動翻訳機能を持つ「クルルジャパンデオ」を活用したデジタル発信が主であるが、紙媒体の必要性も踏まえ、費用対効果を考慮し研究を継続する。

豊丘村の国際化への提言
課題: 増加する外国人来訪者への対応
提案: 「世界の中のTOYOOKA」を目指して
国際感覚を育む教育の推進
「誰にでも分かりやすい」環境整備
若者の海外視察を支援

国際感覚を養う教育と人材育成は 質問 将来を見据え、若い世代が日常の中で異文化に自然に対応できる「国際感覚」を養う教育の必要性を感じる。今後の取り組みの考えは。教育長 現在の社会教育で英語活動などは自主性に委ねられている面がある。解決策として、外国青年を招致する「J E T プログラム」に着目し、教育指導や交流の場を創出することを提案する。任用に伴う生活支援等の人的負担はあるものの、国からの経費補填などの利点を活かし、先行して取り組む近隣自治体の事例を参考に、日常的に国際感覚を養える環境づくりに研究していく。

案内サイン設置と 留学支援策は 質問 誰にでも分かりやすいユニバーサルサインの設置、外国語版観光マップの作成、若者の海外留学への補助制度について提案する。産業振興課長 サイン設置は外国人だけでなく高齢者や子どもにも有用であり、施設の更新時期に合わせて統一性のあるデザインでのマップについては現在、自動翻訳機能を持つ「クルルジャパンデオ」を活用したデジタル発信が主であるが、紙媒体の必要性も踏まえ、費用対効果を考慮し研究を継続する。

豊丘村の国際化への提言
課題: 増加する外国人来訪者への対応
提案: 「世界の中のTOYOOKA」を目指して
国際感覚を育む教育の推進
「誰にでも分かりやすい」環境整備
若者の海外視察を支援

多言語表記の現状と今後の課題は 多言語化を進めている。産業振興課長 道の駅を除き導入事例は少ないが、リニア時代を見据えデジタル技術やピクトグラムの活用が課題である。教育長 学校では英語表記を順次導入している一方、図書館等の施設は未整備であり、今後の課題である。

案内サイン設置と 留学支援策は 質問 誰にでも分かりやすいユニバーサルサインの設置、外国語版観光マップの作成、若者の海外留学への補助制度について提案する。産業振興課長 サイン設置は外国人だけでなく高齢者や子どもにも有用であり、施設の更新時期に合わせて統一性のあるデザインでのマップについては現在、自動翻訳機能を持つ「クルルジャパンデオ」を活用したデジタル発信が主であるが、紙媒体の必要性も踏まえ、費用対効果を考慮し研究を継続する。

案内サイン設置と 留学支援策は 質問 誰にでも分かりやすいユニバーサルサインの設置、外国語版観光マップの作成、若者の海外留学への補助制度について提案する。産業振興課長 サイン設置は外国人だけでなく高齢者や子どもにも有用であり、施設の更新時期に合わせて統一性のあるデザインでのマップについては現在、自動翻訳機能を持つ「クルルジャパンデオ」を活用したデジタル発信が主であるが、紙媒体の必要性も踏まえ、費用対効果を考慮し研究を継続する。

豊丘村の国際化への提言
課題: 増加する外国人来訪者への対応
提案: 「世界の中のTOYOOKA」を目指して
国際感覚を育む教育の推進
「誰にでも分かりやすい」環境整備
若者の海外視察を支援

定例会報告

補正予算

委員会報告

一般質問

議会は今、

寄せられた声を検討

村内みてある記



リニア開通を見据えての将来構想は 答 グランドデザインを作製中

井原 康明 議員

質問 以前より度重なる村長の話の中に、リニア中央新幹線の開通を見据えた下伊那地域や豊丘村を含めた北部5町村にも大きな変換期を迎えることは間違いないと、企業関係やそれにかかわる人の人流などがふえて地域の活性化が見込まれると熱く語られている。開通まで10年先とも言われているが、企業の移転などは、早めの計画で動くため、受け入れる側の準備や根回しが必要であり、これに対する村の準備や構想が見えてこないのか、現在の様子や村長に伺う。

村長 県からも飯田下伊那のグランドデザインが見えてこないという強く言われている。まずはこの2次交通と言うことだが、10年先がどのくらい交通機能が発達しているかはちょっと想像できない。その中で、県を中心にサウンディング型市場調査の1回目が始まり、実現可能性のものに対してどういうものを予測していくかの研究が始まっている。「ライドシェア」の活用やルールの変更も今後重要になると考える。

質問 豊丘村は自然豊かな所であるが、当村に来て見て体験してもらうには、何が必要で、どのようにしたいか、取極体験の種類、拡充や、移動バス等の構築など含め村長の考えを呼べる、また、人を見てくれる目玉的な施策について何かあるかを伺う。



着々と進むリニア高架橋（橋木村）

村長 観光面での移動手段と理解するが、この知恵を借りる」という方向で進めていきたいと考えている。やはり、宿泊や店舗運営の確かな実績がある法人や個人に任せることが、安定した運営とサービス向上への近道だ。具体的には、来春を目途にプロポーザル方式での公募を行う予定だ。地元の高松町の皆さんとしっかり膝を突き合わせて、応募の条件などを詰めていく。全国から「この村を盛り上げたい」という熱意と能力のある方を募り、「いげたや」を地域の拠点として、もう一度しっかりと再生させていく決意だ。



ゲストハウスいげたや(井桁屋)の現状と今後の運営は 答 もう一度しっかりと再生させていく

吉川 明博 議員

質問 「いげたや」の今の運営状況が、開設当初と比べてうまく回っていないんじゃないか、という率直な疑問から質問したい。私自身、立ち上げの頃から関心を持って見てきたし、当初はイベントの案内もよく届いて、実際に参加もした。家族連れや若い人、県外から来た人も多くて、一緒にご飯を食べたり自然に会話が生れたりして、「ああ、こういう交流の場を目指してたんだな」と感じる、すごくいい雰囲気だった。一方で、建設時には当初想定していたよりも下水処理施設の増設などで費用がかなり膨らんだ記憶があり、「こんなに大きな設備が本当に必要なのかな」と思ったのも正直なところ。移住促進の入り口として、ゲストハウスやお試しハウスには大きな期待をして

村長 まず運営状況であるが、正直申し上げて非常に厳しい状況にあり、村としても「このままではいけない」と強く認識している。もともと築100年の古民家を活かし、里山の魅力やアートを楽しめる滞在施設として整備したが、現在はそのポテンシャルを活かしきれっていない。そこで、議員からご提案いただいた「プロ

の知恵を借りる」という方向で進めていきたいと考えている。やはり、宿泊や店舗運営の確かな実績がある法人や個人に任せることが、安定した運営とサービスの向上への近道だ。具体的には、来春を目途にプロポーザル方式での公募を行う予定だ。地元の高松町の皆さんとしっかり膝を突き合わせて、応募の条件などを詰めていく。全国から「この村を盛り上げたい」という熱意と能力のある方を募り、「いげたや」を地域の拠点として、もう一度しっかりと再生させていく決意だ。



築100年を超える古民家を改装しました

地域の「案内所」としてのゲストハウス役割(補足)

「いげたや」の例のように、その土地の魅力を発信したり、移住希望者が地域を知るための「最初の窓口」になったりすることが期待されます。プロの運営者が入ることで、イベント開催やSNS発信などが活発になり、地域の拠点としてのポテンシャルが発揮されやすくなります。

自治体の特に「いげたや」のようなケースでは、単なる安宿ではなく、「地域おこし」や「交流人口の創出」を目的とした滞在型交流施設という意味合いが強くなります。

部活動地域展開、小中、地域の連携は

答 大事な課題である

武田 徹 議員



質問 10月24日に「中学校部活動地域展開の運営組織検討委員会」が行われたが、その後の検討状況は。

教育長 11月26日に「豊丘村スポーツ推進審議会」が行われ、検討を行った。この席には小学校の2人の校長先生にも参加いただいた。この会議で「NPO法人とよおか総合型スポーツクラブ」に「コーディネーター業務」「マッチング業務」「マネジメント業務」「安全教育業務」を委託していく方向で意見がまとまった。

今後は、12月開催の総合教育会議で協議調整をしながら1月には「中学校・スポーツ文化活動運営委員会」で令和8年の方向を示していきたい。令和9年4月からは完全に休日部活は地域で実施する体制になるので、令和8年秋頃までに協議を

各町村で地域展開がある程度整った後にその運営団体の間で町村の枠を超えた連携を取っていくように考えている。現実問題として部員不足により近隣町村と合同チームを組んで大会に出場している部活が4つある。部活動の地域展開を軌道に乗せながら地域の連携も並行して進めたい。

質問 部員不足により4つの部活が合同チームを組んでいる中、部

員確保の意味からも中学校の連携が必要と思うが。

教育長 毎年6年生の体験入学の中で、部活動のPRビデオ

現在の助成の継続を

答 負担軽減を考えたい

質問 村から部活動に対し手厚い補助があり感謝をしている。マイクロスパスもその一つ。範囲や大会はどうなっているのか。

教育委員会事務局 令和5年より中学校とで内規を決め対応している。南信大会、県大会に参加選手、チームについて最大2台まで配車している。その他練習試合等には公民館パスも利用可能で、利用率は高い。

質問 この先合同チームが出てくると思われるがその場合の規定は。教育委員会事務局 現在は合同チームの場



部員不足による部活の存続も課題

動の見学会を行っている。地域展開についても参観日を利用して説明会を持っている。今年度部活動のPRビデオ

質問 今後地域移行が進み競技団体主催大会へと変化してくると思われるが、その場合も継続できるか。

教育委員会事務局 そのときの状況を判断し対応したい。地域展開により家庭(保護者)の負担が増加することが予想されるが、国、県のガイドラインを受け、負担の軽減も検討する。具体的な内容を見る中で、公用车使用に

質問 今後地域移行が進み競技団体主催大会へと変化してくると思われるが、その場合も継続できるか。

教育委員会事務局 そのときの状況を判断し対応したい。地域展開により家庭(保護者)の負担が増加することが予想されるが、国、県のガイドラインを受け、負担の軽減も検討する。具体的な内容を見る中で、公用车使用に

悲しい人身事故が起きる前に 村長判断で対応できる計画の策定を

答 緊急銃猟を含めた「ツキノワグマ出没時対応マニュアル」作成中

堀本 丈文 議員



質問 異常に熊が出没した年でした。現在、村に熊が出た場合の対応について回答を願う。産業振興課長 本年7月に「豊丘村クマゾーニング管理実施計画」を策定し、地域の特性に応じた対応体制を整備した。

計画は村内を、次の3つに区分した。

- 「主要生息地域」 獣害防護柵(山間地に張ってある獣害防護柵)より上段地域
- 「防除・緩衝地域」 獣害防護柵から広農道までの地域
- 「排除地域」 広域農道から下段の地域

①山林内、「主要生息地域」該当、情報提供と注意喚起。注意看板、鈴携帯、複数行動を推奨。

②山間地域の果樹園等、集落の住宅付近、「防除・緩衝地域」該当、防災無線等の注意喚起



とパトロール実施。果樹、生ごみ等の誘引物除去、電気柵設置指導。複数出沒、建物侵入、緊急捕獲許可を検討。

③上中段地域の果樹園等、集落・住宅付近、広域農道から上段は②と同じ対応。

広域農道から下段は「排除地域」該当、厳格な対応を行う。

被害が生じてなくとも村長による緊急捕獲を許可、人身事故の可能性が高く迅速な捕獲が困難な場合は、緊急銃猟の実施を検討する。緊急銃猟は、安全確保措置を講じ、住民の避難誘導や交通規制を行った上で、協と警察と県の3者で協議して実施するもの。

④天竜川沿線の果樹園等、住宅・商業地域、



『排除地域』該当、人家密集地として最も厳格に対応。被害がなくとも直ちに緊急捕獲を許可、人身事故の可能性が高い場合は緊急銃猟の実施を検討。

質問 次に、教育関係施設の場合について、回答をお願いします。

教育長 小中学校の施設内での熊出沒には、村、警察、県の関係機関と意思疎通を図り、役割対応を確認し、連絡体制図、対応のフロー図を職員間で確認している。

すぐには下校かとの質問ですが、下校は安全確認後となる。

ですが、学校周辺・通路の安全確保のために、警察等にパトロールの依頼をし、保護者へは緊急メールで引き渡し連絡をします。

翌日以降の登校は、危険であれば自宅待機、安全確認であれば、保護者による送迎を依頼します。

質問 保育園はどうか。子ども課長 熊出沒等の場合、対応マニュアルに沿っての体制をとります。

園庭等で熊を発見した場合、園児を速やかに園舎内の部屋奥に避難、扉や窓を閉め安全確保し静かに待機します。

直ちに関係部署に連絡、情報共有と協力要請します。又、保護者には対応メール配信します。

安全確認ができたから保護者へ引渡しをメール配信し、

質問 保育園はどうか。子ども課長 熊出沒等の場合、対応マニュアルに沿っての体制をとります。

園庭等で熊を発見した場合、園児を速やかに園舎内の部屋奥に避難、扉や窓を閉め安全確保し静かに待機します。

直ちに関係部署に連絡、情報共有と協力要請します。又、保護者には対応メール配信します。

安全確認ができたから保護者へ引渡しをメール配信し、

質問 保育園はどうか。子ども課長 熊出沒等の場合、対応マニュアルに沿っての体制をとります。

園庭等で熊を発見した場合、園児を速やかに園舎内の部屋奥に避難、扉や窓を閉め安全確保し静かに待機します。

直ちに関係部署に連絡、情報共有と協力要請します。又、保護者には対応メール配信します。

安全確認ができたから保護者へ引渡しをメール配信し、

来年度予算に向けて12月1日に政策提言を行いました 令和7年に検討した事項から 7項目を村長に提言しました

1. 村内への防犯カメラ設置推進について

【現状・課題】凶悪犯罪・農産物盗難対策として、防犯カメラは早期検挙、犯罪抑止、獣害対策に有効です。
【提言内容】
(1) 警察等専門家の指導を仰ぎ、必要な個所について村内への防犯カメラ設置を進めること
(2) 個人や事業所などが防犯カメラを設置する場合には、補助がされるよう制度を創設すること

2. 保育園給食における地産地消の支援について

【現状・課題】地産地消の保育園給食推進には、生産者支援のため学校給食と同水準に引き上げるための食材費確保が必要です。
【提言内容】
(1) 保育園の給食についても地産地消と農業振興の一端として、米飯給食推進事業にて対応すること

3. 「林原公園」を中心とした里山公園の整備について

【現状・課題】林原公園は施設が老朽化し、危険木が増加しています。道路改良を機に、里山公園として再整備を望みます。
【提言内容】
(1) 「林原公園」と周辺の森林とため池を含めた地区を、所有者と地域住民の皆様と再検討し、里山公園としての整備を行うこと
(2) 周辺の森林を含め里山公園整備には、自伐型林業等の技術活用も検討すること
(3) 地区内にある保安林については、整備計画を作成する中で必要に応じて解除等を検討すること

4. 猛暑の影響で、指定避難所となる体育館の熱中症対策が課題となった。空調設置には、交付金や資金借入も視野に。

【提言内容】
(1) 小中学校の体育館に空調設備を設置すること (2) 村民体育館に空調設備を設置すること

5. 神稲児童クラブの増改築と河野児童クラブプレイルームへのエアコン設置について

【現状・課題】神稲児童クラブは定員超過で活動場所が手狭となり、指導員の負担も大きい。河野児童クラブはエアコンが設置されていない。
【提言内容】
(1) 神稲児童クラブの利用者の増加に伴い、人数にあった施設となるよう、安全を考慮した増改築をすること
(2) 河野児童クラブプレイルームにエアコンを設置すること。併せて、窓に日差しを遮るカーテンを設置すること



6. 一貫道路林里地籍歩道の安全確保について

【現状・課題】マルシェ付近の中央保育園西側歩道は、高齢者等の利用が増えており、側溝への転落防止のための安全施設設置が急務です。
【提言内容】
(1) 中央保育園西側の歩道に安全施設の設置を早急に行うこと
(2) 安全施設の設置においては、側溝の維持管理等地元地区と充分協議を行うこと



7. サンシェード設置について

【現状・課題】気候変動による猛暑対策として、保育園の園庭にサンシェード等暑さ対策施設の設置が必要です。
【提言内容】
(1) プールおよび園庭に暑さ回避対策として「サンシェード」等を設置すること

下伊那郡北部ブロック町村議会の県議会陳情結果報告 「竜神大橋」の8年度完成など6件採択

副議長 唐澤 克己

採択された陳情

- ※(一)内は陳情発案議会
- ①介護職員の人材確保 (大鹿村議会)
- ②県道と町村道の管理の見直し (高森町議会)
- ③主要地方道松川インター大鹿線の防災事業の推進及び国道152号の通行通行の実施(大鹿村議会)
- ④主要地方道飯島飯田線上片桐バイパス及び飯田以北の整備促進 (松川町議会)
- ⑤県道上飯田線の交通アクセス改善 (喬木村議会)
- ⑥下伊那北部地区活性化に向けて「竜神大橋」の令和8年度完成 (豊丘村議会)

令和7年8月8日の議員研修会で審議し、9月25日に県及び県議会へ要望した下伊那郡北部ブロック町村議会の陳情結果が、11月25日の議員総会で報告されました。9件の陳情の中で、6件が採択となり、今後実現に向けて、県及び県議会と尽力していただけることになりました。いずれも豊丘村を含む北部5町村にとっては切実な願いであり、陳情が着実に進展していくことが期待されます。

議会は今、何しているの？

議会活動報告(10月~12月)
議長 平澤 恒雄

10月	11月	12月(定例会日程は除く)
5日 小学校運動会 全議員	31日 議会全員協議会 臨時会	1日 議会全員協議会、議会運営委員会、議会改革検討委員会、広報部会
6日 三遠南信地域市町村議会議長協議会総会議長、三遠南信・浜松湖西豊橋道路建設促進議員協議会総会 正副議長、三遠南信サミット2025 in南信州 正副議長・有志議員	31日 飯伊市町村議会議員研修 全議員	1日 村へ政策提言提出 正副議長 委員長
8日 広報部会	8~9日 とよおかまつり ゴミステーション協力 全議員	5日 区三役と村の行政懇談会 正副議長
9~10日 議会行政視察研修(関西方面班)	10日 総務産建委員会 親友会と懇談	9日 農業農村振興懇談会 総務産建正副委員長
11日 保育園運動会 全議員	14日 南信州広域連合議会定例会 正副議長	17日 農業振興地域整備促進協議会 正副議長
14日 社会文教委員会	16日 広域消防組合消防演習 議長	16日 飯田竜水園連絡協議会 議長
15日 総務産建委員会	17日 議会全員協議会	18日 総務産建正副委員長
16~17日 南信州広域連合議会視察 副議長	17日 竜神大橋建設期成同盟会総会 正副議長	18日 村と飯田シルバ人材センターの懇談会
20日 総務産建委員会	17日 豊丘村駅伝大会 議長	19日 村長表彰被表彰者選考委員会 正副議長
21日 下伊那北部事務組合議会 全員協議会先例会 正副議長	23日 下伊那北部ブロック町村議会議員総会 全議員	24日 議会改革検討委員会
24日 議会全員協議会、議会運営委員会	28日 南信州広域連合議会定例会 正副議長	25日 議会改革検討委員会
24日 議会改革検討委員会、総務産建委員会	29日 関東豊丘会総会 副議長	29日 議会全員協議会
28日 地域情報通信事業運営審議会 委員2名		30日 議会改革検討委員会 全議員
28~29日 議会行政視察(関東方面班)		

寄せられた声を検討	村内みである記
31日 議会全員協議会 臨時会	
31日 飯伊市町村議会議員研修 全議員	
8~9日 とよおかまつり ゴミステーション協力 全議員	
10日 総務産建委員会 親友会と懇談	
14日 南信州広域連合議会定例会 正副議長	
16日 広域消防組合消防演習 議長	
17日 議会全員協議会	
17日 竜神大橋建設期成同盟会総会 正副議長	
17日 豊丘村駅伝大会 議長	
23日 下伊那北部ブロック町村議会議員総会 全議員	
28日 南信州広域連合議会定例会 正副議長	
29日 関東豊丘会総会 副議長	
1日 議会全員協議会、議会運営委員会、議会改革検討委員会、広報部会	
1日 村へ政策提言提出 正副議長 委員長	
5日 区三役と村の行政懇談会 正副議長	
9日 農業農村振興懇談会 総務産建正副委員長	
17日 農業振興地域整備促進協議会 正副議長	
16日 飯田竜水園連絡協議会 議長	
18日 総務産建正副委員長	
18日 村と飯田シルバ人材センターの懇談会	
19日 村長表彰被表彰者選考委員会 正副議長	
24日 議会改革検討委員会	
25日 議会改革検討委員会	
29日 議会全員協議会	
30日 議会改革検討委員会 全議員	



11月25日「ゆめあるて」にて行われた
下伊那郡北部ブロック議員総会



長野県町村議会議長会 自治功労者表彰
(10年以上在職者)
右から酒井浩文議員 片桐忠彦議員 唐澤健議員



竜神大橋建設期成同盟会 現場視察



公民館学習会 お正月飾り作り

令和7年度「模擬議会」
開催中止のお知らせ

豊丘村議会では、昨年度に続き「模擬議会」開催のための模擬議員を募集しましたが、募集定員に達しなかったため、今年度の模擬議会開催は中止の決定をいたしましたので、お知らせいたします。
議会事務局 35-9063

— 目安箱・みんなの声ステーション —
寄せられた声を検討

社会文教委員会 委員長 武田 篤子

目安箱に出された意見

- 保育園に看護師を雇っていただき、経営栄養などの処置ができるようになってほしい。東京都では実際にやっており、飯田市でも検討中とお聞きしました。
- 回答：その子どもさんにとって、どうしていくことが一番いいのかを、引き続き両親を含め担当部局とともに考えていってもらえるように、村に伝えました。

とよまつみんなの声ステーションに寄せられた意見

- 北保育園の駐車場を広くしてほしいです。近年、子どもの数も増え夕方特に込み合う駐車場です。一方方向に通過できる駐車場や範囲が広くなれば嬉しいのですが…対策はされないのでしょうか？
- 回答：以前にもそういったご意見をいただき、令和7年4月に委員会にて現地視察に行きました。そこでの結論は「駐車場の拡張は難しいので、車の流れの動線をつけてもらう」とお願いしました。その後、対応していただきました。現在、駐車区画線が、若干薄くなり見えにくくなってきているようなので、線の引き直しを行うとのことです。また、夕方の迎えの時間を長くするなどの対応もとっています。



区画線の引き直しを行う

- 役場保健センターのトイレをすべて洋式に取り換えてほしい。年数も経過しているので、すべて新しくしたらどうでしょうか。
- 回答：今年度予算で、子ども用はすべて洋式化されました。大人用については2つのうち1つは洋式化されましたが「和式トイレを残してほしい」という村民の方の要望もあり、すべてのトイレの洋式化にはなっていません。



洋式化された
子ども用トイレ

- 3歳未満で自宅で子どもを見ている人へも何か助けが欲しい。保育園では税金を使っているのに、家で見ている人にはそれが無いのは平等ではない気がする。ミルク代、おむつ代の補助などしてほしい。
- 回答：未満児保育につきましてはオムツは各家庭から持ってきていただいております。また、保育料についても所得に応じてご負担をいただいております。子育て支援センターに、いつでも親子で遊びに来てもらうことができます。無料となっておりますのでご利用ください。
また、未満児全員に対しまして、できるだけ手厚い補助をしていただけるように、村に対してお願いしていきたいと思っております。

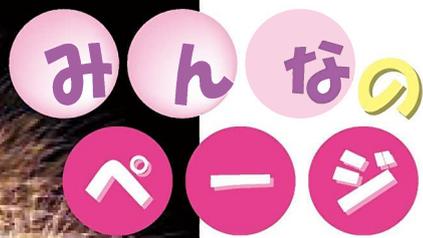


Photo Build を起業



とよおかまつり



月川、花桃



料理写真

小園自治会に、ご家族三人でお住まいの平澤秋人さんを紹介します。

小園 平澤秋人さん (60歳)

あきと

◆お店の名前と、どのようなお仕事ですか

「フォト・ビルド」と言う名前です。光をコントロールするという意味あいがあります。メニユー・パンプレット等の写真撮影、企画、デザイン、印刷などを手掛ける仕事をしています。

◆起業のきっかけは

趣味を仕事にしたかったので、龍共印刷を退職後、自宅を事務所として起業しました。

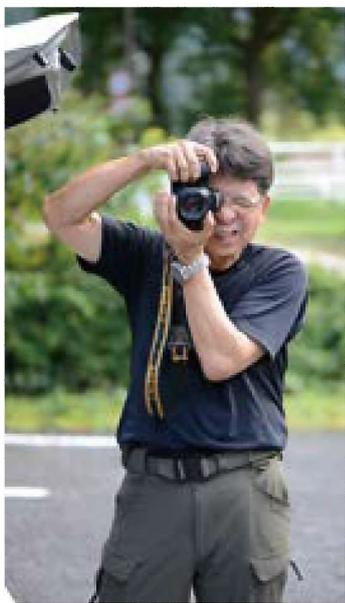
◆趣味は

カメラ撮影と、オート

バイに乗ることです。(ガレージにはカワサキの1200ccのバイクが置いてありました。先日、そのバイクで北海道まで行って来られたそうです)

◆村への要望等ありましたら

リニア開通後を見据え、この地に住んで通勤・通学ができるような仕組みを、村として(または広域で)考えていって欲しいです。



▶ご本人

編集後記

●夏の期間が年々長くなり、春と秋の過ごしやすいつ時期が短くなっている「季節の二季化」を近年顕著に感じます。花や紅葉を愛でる季節が短いには少し寂しさを感じます。この「二季化」が、気づけば心の余白まで削っている気がします。

●ジェンダーギャップ指数で日本は世界148か国中118位と低迷している中で、昨年初の女性首相が誕生しました。新しい年でも、さらなる女性活躍の年となるよう期待したいものです。
(武田篤子)

発行責任者

議長	平澤 恒雄
部長	武田 徹
副部長	前沢 光昭
部長	堀本 丈文
部長	武田 篤子
部長	吉川 明博
部長	唐澤 克己

豊丘議会だより
第114号 12月定例会
令和8年1月20日

発行／長野県豊丘村議会
編集／広聴広聴委員会広聴部会
印刷／龍共印刷株式会社

豊丘村議会

検索

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村大字神籠3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp